

臨床情報学 (Clinical Informatics)

担当教員

教授 橋詰 勉
准教授 津島 美幸
助教 地寄 悠吾

科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等
薬学専門教育（講義）	4年次 前期	講義 演習	1.5単位	必修

【概要】

医薬品は有効性・安全性に係る情報と一体となって初めて適正に使用され、その目的を達成できる。

本講では、臨床現場で医療チームの一員として医師や看護師とともに活躍する薬剤師にとって、また医療現場と製薬企業間における医薬品情報のメッセンジャーとしての医薬情報担当者等にとって、重要で有用となる医薬品情報に関するさまざまな事項を体系的に整理し、解説する。

この授業は対面授業と同時配信型授業で構成する。学生の皆さんには隔週で対面授業を7回、同時配信型授業を7回受講してもらう。

【授業の一般目標】

医薬品の適正使用に必要な医薬品情報および患者情報を判断し、取扱いができるようになるために、これら情報の収集、評価、整理・保管、加工・提供に関する知識を修得し、併せてその手法についての技能、態度を考察する。

【関連する卒業認定・学位授与方針】 DP1・DP4

【準備学習(予習・復習)】

講義ごとに、その内容を次回講義までに復習しておくこと（概ね、毎回最低1時間）。また、指示する事項について、情報の検索・調査や得られた情報の判断、レポート作成を行うこと（講義全体を通じて15-20時間）。

【学習項目・学生の到達目標と、対応するSBOコード】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標	SBOコード
1	薬害と医薬品情報の重要性 医療に必要な情報	橋詰	代表的な薬害の原因と社会的背景を具体的に述べ、医薬品情報の重要性を説明できる。 医薬品情報源の一次・二次・三次資料について説明し、それらの具体例を列挙できる。	A-(1)-③-6 E1-(4)-4 E3-(1)-①-1,2 E3-(1)-②-1,2
2	医薬品添付文書（医療用、要指導・一般用）（1）	津島	医薬品添付文書（医療用、要指導・一般用）の法的位置づけと用途を説明できる。	E3-(1)-②-4
3	医薬品添付文書（医療用、要指導・一般用）（2）	津島	医薬品添付文書（医療用、要指導・一般用）に記載されている項目を列挙し、その必要性を説明できる。	E3-(1)-②-5 E3-(1)-⑦-2,3 B-(3)-②-3
4	医薬品添付文書（医療用、要指導・一般用）（3）	津島	特に配慮すべき患者（小児、高齢者、妊産婦等）の薬物治療において、医薬品添付文書の活用と注意すべき点を説明できる。	E3-(3)-②-1,2 E3-(3)-④-2
5	製薬企業から提供される情報	橋詰	医薬品インタビューフォームなどの資料の位置づけと用途を説明し、医療用医薬品添付文書と比較できる。	E3-(1)-②-3,6
6	厚生労働省から提供される情報	橋詰	厚生労働省、医薬品医療機器総合機構から提供される資料を列挙し、それらの特徴を説明できる。	E3-(1)-②-3
7	医薬品の開発過程で得られる情報	津島	医薬品の開発過程を具体的に述べ、各過程で得られる情報について説明できる。	E3-(1)-①-3 B-(2)-②-2,4
8	製造販売後調査	津島	医薬品の製造販売後調査の制度とその意義について説明し、調査から得られる情報の種類を列挙できる。	E3-(1)-①-4,5 B-(2)-④-4,5,10
9	データベース	橋詰	情報検索法について説明し、代表的な医薬品情報データベースを列挙できる。	E3-(1)-③-2
10	医薬品情報の評価とEBM	橋詰	EBMの基本概念や実践プロセス、医薬品情報の質の評価に係る事項を説明できる。	E3-(1)-③-3,4 E3-(1)-④-1~4
11	医薬品情報検索の実践	津島 地寄	医薬品の効能・効果、用法・用量、副作用、相互作用など多様な医薬品情報を目的に合わせて検索、収集できる。	E3-(1)-③-1 A-(5)-①-2,3
12	医療に必要な患者に関する情報（1）	橋詰	POSを説明できる。 薬物治療に必要な患者基本情報を列挙できるとともに、SOAP形式で患者記録を作成できる。	E3-(2)-①-1,2 E3-(2)-②-1~3
13	医療に必要な患者に関する	橋詰	薬歴、検査値などから患者の状態を把握できる。患者の権利につ	E3-(2)-①-1,2

	情報 (2)		いて説明できる。	E3-(2)-②-1～4
14	医療現場での医薬品情報の活用	橋詰	医薬品情報を目的に合わせて適切に加工し、提供するための注意点を説明できる。	E3-(1)-③-5
15	総括・まとめ			

【実務経験】

橋詰

業種:病院

学習項目No.	その経験を生かして、どのような教育を行なうのか。
10,12-14	医療現場における薬学管理のためには、患者情報を患者や家族、医師・看護師などの医療従事者、診療録などから収集し、患者の状態を把握・判断することが必要である。また、その過程を記録することも重要である。当該教員は医療現場での業務経験に基づき、これらの実践的手法について学生に伝える。

津島

業種:病院

学習項目No.	その経験を生かして、どのような教育を行なうのか。
2,3,4,7,8,11	実務経験を生かして、医療現場で行われている医薬品に関する情報収集、情報提供についての教育を心掛けている。

(書名)	(著者・編者)	(発行所)
教科書 医薬品情報学	橋詰 勉、栄田敏之編集	廣川書店
参考書 医薬品情報学ワークブック	望月眞弓、山田 浩編集	朝倉書店

【成績評価方法・基準】

定期試験90%、指示課題（医療従事者からの質問に対する回答、薬害に関する考察）のレポート10%

【評価のフィードバック】

成績評価の講評については、合格発表日にmanabaにて公開する。